

『吾輩は猫である』や『倫敦塔』などを発表して二二〇年。『硝子戸の中』『道草』の発表からは今年で一一〇年となる。

第126回

鎌倉漱石の會 例会

時

令和7年4月29日(火・祝)
午前11時〜午後3時半頃まで

処

鎌倉 円覚寺塔頭『**帰源院**』
JR横須賀線「北鎌倉駅」下車4分

西田幾多郎という人

― 漱石、鎌倉とのかかわり ―

午前の部
〔11時00分〜12時30分〕

「漱石より三歳年少で、帝大で同時期に学んでいた哲学者・西田幾多郎。終焉の地・鎌倉でのエピソードを交えながら、没後八十年となる西田幾多郎の人となり」をお話し下さいます。

昼食・休憩(12時30分〜13時30分)

帝大生金之助のドイツ語学習

― 全集未収の断片から ―

「西田と一緒に受けたゲーテの『ヘルマンとドロテア』のドイツ語授業に関する断片」について、お話し下さいます。講師は、一昨々年の鎌倉漱石の會八十周年記念例会にご出演になります。

早稲田大学名誉教授
日本近代文学館理事長

中島国彦氏

参加費

四、〇〇〇円 (例会資料、鎌倉漱石の會特製お弁当、お饅頭、お茶、特製甘酒を含む)

申込み

ゆうちょ銀行の「払込取扱票」に、◎郵便番号、◎ご住所、◎ご姓名、並びに口座番号
《0016022678886》と加入者名**鎌倉漱石の會**を明記の上、参加費
四、〇〇〇円を、お振込みになれば、お申込みは完了となります。お申込みの方には、「参加票」のハガキをお送り致します。申込み締切りは、4月22日(火)振込み分まで。

問合せ

鎌倉漱石の會事務局(菅佐原智治) 080・55533・2250、又は次のe-mail
j.soseki.soc.100@gmail.com までお願い致します。

頒布

企画展図録『漱石と幾多郎―ふたりを慕う人々―』石川県西田幾多郎記念哲学館(刊)他
『漱石の地図帳』大修館書店(刊)と『森鷗外』岩波新書。各定価より割引販売となります。

鎌倉漱石の會は、昭和三十七年五月発足し、この年の漱石忌に句碑建立。爾来例会は欠かさず、六十三年目を迎える。



帰源院境内の
漱石句碑と山門